

令和元年11月 7日

うるま市長  
島袋俊夫様

うるま市行政改革推進委員会  
(補助金審査委員会)  
会長 佐藤学

## 令和元年度うるま市補助金等に関する審査結果について

この度、うるま市行政改革推進委員会規則第2条第3項及びうるま市補助金制度に関する指針に基づき、うるま市が行う補助金等について審査を行ったところでありますが、審査委員会としての提言を別紙「令和元年度うるま市の補助金等に関する審査結果について」のとおり取りまとめましたのでここに報告いたします。

令和元年度

うるま市の補助金等に関する審査結果について

令和元年10月

うるま市補助金審査委員会

## 目 次

第 1	審査の対象と方法	1
	審査の対象	
	審査方法	
第 2	審査結果概要	2
	総括	
	総合評価内訳	
第 3	個別審査結果	4
◇	付属資料	10

# 第 1 審査の対象と方法

## 1 審査の対象 . . . . .

すべての部署の補助金等を対象に、事務局が調製したリストの中から委員会で最終選定を行い、11件の補助金等を対象に審査した。

## 2 審査方法 . . . . .

審査結果を令和2年度の予算編成に反映させるため、10月までに審査を終えることにした。

審査は個別の補助金等について、事前に事務事業評価票（補助金交付型）、事業報告書、決算書等の資料の提出を求め、担当部署ごとにヒアリングを実施し以下の要領で行った。

- (1) 「うるま市補助金制度に関する指針」に定める「交付基準」を踏まえ評価を行い、「見直し基準」により方向性を判断する。
- (2) 審査対象補助金を1会議あたり、3～4件を目途に審査する。
- (3) 審査では、補助金審査票（事務事業評価票・補助金交付型）及び関連資料を基に担当課ヒアリングを実施する。ヒアリングは、うるま市補助金制度に関する指針に示した補助金交付基準（1. 事業の公共性、2. 事業の効果性（有効性・効率性・適時性）、3. 団体等の適格性など）に基づき、市民の視点から補助の必要性、額の妥当性等を検証する。
- (4) 上記審査に基づき、委員会としての総合評価（A：更に充実させる方向で見直し、B：現状のまま継続、C：効率化・コスト削減の方向で見直し、D：縮小・廃止を前提とした見直し）を決定し、その理由や意見、見直しの方向性等を取りまとめる。

## 第2 審査結果概要

### 1 総括・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

うるま市における補助金等のあり方について、市民目線で審査を行うために当委員会が設置され、今回で13回目の審査となった。市民の立場から補助金等を確認していくことは行政改革として大変重要なことであり、補助金等が設定された趣旨や、時代の流れの中で本当に相応しいのか、常に検証していく必要がある。

今回、委員会で選定した11件の補助金について、担当課の事務事業評価票を基にヒアリングを行い、「うるま市補助金制度に関する指針（平成29年3月改訂）」に基づいて「本当に必要な補助金か」「額は妥当か」「運営上の課題はないか」等の視点から審査を行った。審査の結果として、まず始めに総括的な指摘事項として以下のとおり提言する。

#### (1) 指標の設定について

今回審査した補助金において、設定された指標について疑問を感じるものが多くあった。

指標については、活動を表す指標（活動指標）と目標を表す指標（成果指標）の二種類が設定されているが、活動指標と成果指標が同じ指標で設定されているものや、成果指標として不適当なもの、成果指標がそもそも設定されていないもの、これらが多く見受けられた。

指標の設定が補助金の内容によっては困難なものがあることは理解するが、成果を数値として定量的に表せるものでなければ、事業として抱える問題や課題が見えてこない。できる限り本質を捉えた指標を設定すること意識していただきたい。

#### (2) 補助金審査フォローアップ調査について

令和元年度の補助金審査と並行して、平成30年度補助金審査においてC評価・D評価と判定された5件の補助金について、その後の取り組み状況を確認するためのフォローアップ調査を実施した。個別に講評をしていきたい。

『うるま市社会福祉協議会運営補助金』については、一定の改善は見られる。しかし補助金額が大きく恒常的に市が関わっていく団体であることから、今後も定期的に審査を行っていきたい。

『うるま市与勝地下ダム土地改良区補助金』は、未収金を改善するために具体的な目標を立てて取り組んでいる為、効果的な取り組みが行われていると評価する。

『文化協会補助金』については、情報発信を促すだけではなく、若者が参加できるイベントへの見直しを行うよう、委員会として意見した。この点に関して具体的

な取り組みが行われていないと判断する。

『各種団体育成費補助金』『市畜産共進会運営補助金』の両補助金に関しては、交付要綱の見直し、補助金の課題改善について、取組のスピード感が足りていないと考える。次年度以降も改善が行われているか引き続き注視していきたい。

### (3) まとめ

今回の補助金審査において、例年よりも自主改善を図る傾向が見えたことを評価したい。

『うるま市観光物産協会補助金』は過去の補助金審査においても、協会の組織体制の課題については、審査委員会でもたびたび議論に上がっていたが、担当課で改善について具体的に言及は無かった。しかし今回は委員会で指摘される前に課題と改善について具体的に示したことを評価したい。

また『中頭地方視聴覚協議会負担金』についても、構成市町村で廃止に向けた検討が行われていることが報告され、委員会としても役割を終えていると判断しD評価とした。実態を知る行政内部から、このように歴史的使命を終えた事業の廃止に向けた動きが、とりわけ他市町村との協議会の場に出てきたことを、高く評価する。

指標設定については、まだ市全体として成果指標・活動指標の考え方が浸透していないと感じる。今後事務事業を評価する上で課題となることを懸念する。

フォローアップ調査について今年度は、改善が図られていると判断した補助金が例年より少ない状況であった。特に補助金交付要綱の改善を促した『各種団体育成費補助金』と『市畜産共進会運営補助金』に関しては、迅速に対応するよう強く求めたい。

## 2 総合評価内訳 . . . . .

- A：更に充実させる方向で見直し . . . . . 1件
- B：現状のまま継続 . . . . . 6件
- C：効率化・コスト削減の方向で見直し . . . . . 2件
- D：縮小・廃止を前提とした見直し . . . . . 2件

## 第3 個別審査結果

### ジュニア・オーケストラ補助金（生涯学習文化振興センター）

#### 「ジュニア・オーケストラ補助金」の評価まとめ

##### ◆総合評価

「B」：現状のまま継続

##### ・具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

ジュニア・オーケストラ活動については、県内でも多くあるわけではないということ、また卒業生が多く活躍していることから、活動については評価するが、クラシック音楽に補助金を出すことについては市民の理解を広める必要があるのではないかと考える。

市としての関わり方を考えていかないと、今後先細りしていく懸念がある。うるま市として文化振興をどのようにしていくのかを担当課だけでなく、市全体として考えていかなければならない。

評価についてはB評価としたが、助成先の団体と協議を深め、今後の補助金額に関しても増やすべきかどうかをしっかりと検討していただきたい。

成果指標に自主企画公演における演奏曲数を設定していることは適切でないと考えられる。成果を図れる指標を検討していただきたい。

### 交通安全推進協議会補助金（市民協働課）

#### 「交通安全推進協議会補助金」の評価まとめ

##### ◆総合評価

「C」：効率化・コスト削減の方向で見直し

##### ・具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

毎年同額の補助金を交付していて、実施内容に変化も見られずマンネリ化の傾向が見受けられる。また、警察、交通安全協会と活動内容や配布物、実施時期が重複しているため、市民からはそれぞれの役割の区別がつかない。

協議会予算のほとんどが交通安全広報用品等の購入に使われている。交通安全ジャケットを配布することが本当に必要か今一度考え、交通安全啓発に繋がる活動に予算をかけることを検討していくべきである。

補助金交付要綱についても、平成17年に制定以降一度も改正がないため、現状に即した見直しが必要と考える。

## 優良子牛生産助成金（農政課）

### 「優良子牛生産助成金」の評価まとめ

#### ◆総合評価

「B」：現状のまま継続

#### ・具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

平成30年度に肉用子牛の拠点産地認定を受けたという結果から、本助成金が一定の役割を果たしているものとする。

平成17年に制定された助成金交付規程で謳われている助成金額（1万5千円以内）と現在の助成額に乖離がある。適切な金額への見直しが必要と思われる。

目標指標については現在設定できていない、とのことだったが、事業効果を図るためには必須だと考える。現在の実態に合わせた助成内容にし、適切な指標を設定していただきたい。

今後の畜産振興への市としての方針を検討し、助成金が畜産農家にとって有益なものであることを望む。

## 民生委員児童委員協議会補助金（福祉総務課）

### 「民生委員児童委員協議会補助金」の評価まとめ

#### ◆総合評価

「B」：現状のまま継続

#### ・具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

民生委員児童委員の役割が多岐に渡り、委員のなり手不足へ繋がっているのではないかと。本来やるべき業務を整理し、役割の明確化・基準作りが必要であると考え、その点に関しての、市の積極的関わりが望まれる。

現在委員をされている方々の実態を担当課として把握し、充足率を上げるよう市として取り組んでいただきたい。

協議会の監査については、民生委員だけで行うのではなく、行政も関わることを検討する必要がある。

無給である民生委員制度自体が曲がり角に来ていると思われる。自治体の現状を国等へ伝えることも検討されたい。

## うるま市観光物産協会補助金（観光振興課）

### 「うるま市観光物産協会補助金」の評価まとめ

#### ◆総合評価

「B」：現状のまま継続

#### ・具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

現在着手している組織体制の見直しについては評価するが、今回はB評価に留め、さらなる改善を期待したい。

過去に審査した時と違い、担当課が問題意識を持ち改善を図ろうとしている点は十分評価できる。

今後の観光物産協会と市との関わり方については、これまでのように市の事業を委託するだけでなく、観光物産協会を育てるという方針を取り、相互に連携を図って頂きたい。

## 駐留軍離職者センター補助金（商工労政課）

### 「駐留軍離職者センター補助金」の評価まとめ

#### ◆総合評価

「D」：縮小・廃止を前提とした見直し

#### ・具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

駐留軍関係離職者臨時措置法における就職指導等のための補助金ということは理解するが、基地従業員だけが利用する駐留軍離職者センターという形態が本当に必要なのか、一般市民の立場として甚だ疑問を感じる。

担当課も把握できていないように補助額の算定についても不明瞭である。今後関連する自治体の担当者会議で補助金自体の在り方を検討する等の連携を図り、法的な条件を踏まえた上での縮小・廃止を前提とした見直しをしていただきたいということでD評価とする。

## 新商品開発及びブランド化促進事業補助金（商工労政課）

### 「新商品開発及びブランド化促進事業補助金」の評価まとめ

#### ◆総合評価

「A」：更に充実させる方向で見直し

#### ・具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

市内の中小企業の新商品開発の一助となっている本補助金の有益性はとても高いと考える。しかし現状の年間50万円という予算額では、毎年1件程度しか選定されないため、更に充実を図って欲しいことからA評価とした。

今後はより良い商品開発に繋がるよう、選定方法についても工夫していただきたい。

## P T A 連 合 会 補 助 金（生涯学習スポーツ振興課）

### 「P T A 連 合 会 補 助 金」の評価まとめ

#### ◆総合評価

「B」：現状のまま継続

#### ・具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

P T A 連 合 会 の 業 務 量 が 多 く 苦 慮 し て い る と の こ と だ っ た が、補助金増額で解決するのではなく、まず事業の精査、事務体制の効率化の検討から着手すべきではないか。

また、県P T A 連 合 会 へ の 分 担 金 も 高 い と 考 え る。県P T A 連 合 会 へ 減 額 の 働 き かけ を 行 う こ と も 必 要 だ と 考 え る。

新規事業を増やす前に、健全な形で市内のP T A 活動が維持できるような仕組みづくりにも注力していただきたい。

## 中頭地方視聴覚協議会負担金（生涯学習スポーツ振興課）

### 「中頭地方視聴覚協議会負担金」の評価まとめ

#### ◆総合評価

「D」：縮小・廃止を前提とした見直し

#### ・具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

映像機器等の価格が以前よりも下がってきており、協議会の必要性が薄れてきている。構成市町村の利用割合を見ても、沖縄市の利用率が圧倒的に多く、うるま市が負担金相応のメリットを享受できているとは言い難い。

現在構成市町村で廃止も視野に入れた検討委員会がもたれているとのことだが、ここ数年の利用率等を鑑みて、歴史的役割を終えた事業であると判断し、補助金審査委員会としても廃止を促すD評価とした。

今後協議会が廃止された際には、動画教材等について適正な価格で代替を導入できるように、また、法的問題をクリアした上で、多様な教材の活用が出来るよう工夫することが必要と考える。

## 兼箇所土地改良区補助金（農水産整備課）

### 「兼箇所土地改良区補助金」の評価まとめ

#### ◆総合評価

「C」：効率化・コスト削減の方向で見直し

#### ・具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

補助金のほとんどが兼箇所土地改良区の職員賃金に充てられている。その業務内容としては毎月約30件の徴収、設備等の軽微な修繕、事務作業ということだが、民間水準と比較した場合、業務内容と比べて賃金が高すぎると思われる。精査の上、補助金の段階的な減額を検討していただきたい。

太陽光発電の銀行完済期限を補助金の終期とする等、団体の自立を促すための方針についても出す必要がある。

成果指標については会議の開催数を示していたが、対象地域の水使用量のような、補助金の効果を計れるものへ変更していただきたい。

## 津堅土地改良区補助金（農水産整備課）

### 「津堅土地改良区補助金」の評価まとめ

#### ◆総合評価

「B」：現状のまま継続

#### ・具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

津堅島の農家の状況から、現状のまま継続のB評価とした。

離島である津堅島の農業、また、津堅島のコミュニティを、今後どのように維持していくのか、ということをも市として総合的に考える必要がある。

農業の担い手が少しでも増えるよう、津堅島土地改良区の規約や役員選任規程の見直しについて担当課が指導・助言を行っていただきたい。

農地維持保全活動が成果指標となっているが、補助金の効果が分かる、より適切な指標を設定すべきだと考える。

担当課は地域の実態についても把握するよう努めていただきたい。

## ◇付属資料

### 令和元年度 うるま市補助金審査委員会審査経過

日 程	事 項	内 容
8月 2日（金）	第1回補助金審査委員会	個別補助金について審査【3件】
8月20日（火）	第2回補助金審査委員会	個別補助金について審査【4件】
9月 9日（月）	第3回補助金審査委員会	個別補助金について審査【4件】
9月17日（火）	第4回補助金審査委員会	補助金審査意見の確認【11件】 フォローアップ調査の確認【5件】
11月 7日（木）	令和元年度補助金等に関する審査結果について	補助金審査結果を市長へ報告

## うるま市補助金審査委員会委員名簿

	区分	氏名	役割等
1	委員長	<small>さとう まなぶ</small> 佐藤 学	学識経験者
2	副委員長	<small>ふくはら とおる</small> 福原 徹	公募委員
3	委員	<small>とぐち ひろゆき</small> 渡久地 博之	公募委員
4	委員	<small>まちだ そうこう</small> 町田 宗康	公募委員
5	委員	<small>たかえす やすよし</small> 高江洲 康愛	公募委員
6	委員	<small>はまばた よしまさ</small> 濱端 義正	公募委員
7	委員	<small>ふじた やすえ</small> 藤田 保枝	公募委員
8	委員	<small>みやざと あやこ</small> 宮里 亜矢子	公募委員